

特別講演会

「いのちの授業」を、 もう一度。

講師：山田 泉氏 プロフィール
Izumi Yamada

1959年、大分県豊後高田市生まれ。20歳から県内7カ所の小中学校に勤務、性教育や人権問題などに力を注ぐ。2000年2月に乳がんを発症して休職。復帰した02年4月以降、有名無名の人物を招いて生徒の心を揺さぶる教育実践がロコミで話題となり、朝日新聞「天声人語」、NHK「にっぽんの現場」、フジテレビ系「奇跡体験!アンビリバーボー」など、マスコミ各社に取り上げられる。現在はモルヒネで痛みをコントロールしつつ執筆活動と講演に励む。著書に「いのちの恩返し」「いのちの授業をもう一度」(高文研)など。

がんと向き合い、いのちを語り続ける
元養護教諭「山ちゃん」からのメッセージ

本当の話がしたい

「山ちゃん、は田舎の中学校の養護教諭で、職員室が大の苦手な「ただの保健室のオバサン」。そんな彼女が乳がんになった。苦しい、つらいよ、誰か助けて……。弱音ばかりの闘病生活で、忘れていた大切なことに気づく。「ああ、人って死ぬんや」。そこからスタートした『いのちの授業』。本気で生きる大人たちを全国から呼び集め、腹の底から語らせた。ざわついた教室は、笑いど涙に包まれ、やがて子どもたちが自分について語り出す。全力投球の日々に体力の限界を感じた彼女は昨春、教育現場を去る。その直後、乳がん2度目の再発。「もう治らない」と医師に宣告され、絶望に打ちのめされた山ちゃんが再び、立ち上がった。かつて天国へ見送った仲間の、最期の言葉を伝えるために。「人生で一番大事なものを、それは自分をさらけ出せる友だちがいるかってこと」。山ちゃんの出前授業で、本当の話をしよう。そして「いのちのバトン」を一緒に引き継いでください。

■ 日 時： 2008年8月2日(土)午後6時(午後5時30分開場)

■ 会 場： 朝日ホール(名古屋市中区栄1-3-3 朝日新聞名古屋本社ビル15F)

■ 入 場 料： 一般2,000円(学生1,500円)、名古屋ABC会員1,500円 ※当日会場にてお支払いください。

■ 定 員： 300名(先着順) ※後日、案内状を郵送します。

■ 申込み方法： ①住所 ②氏名 ③電話番号(最も連絡が取りやすいもの) ④メールアドレス ⑤生年月日

⑥購読されている新聞 を明記の上、名古屋ABC「山田泉講演会」係までお申し込みください。

はがき 〒460-0008 名古屋市中区栄1-3-3 朝日会館14F

FAX 052(231)4154

メール n-seikatsu@asahi.com